



平成最後の年が始まりました。地震のみならず風水害その他、どのような災害にも対応できるよう、災対委員会一同研鑽を積んで参ります。みなさまどうぞよろしくお願いいたします。

田岡病院 災害対策委員会一同

法定防火訓練が開催されました

当院では年2回の法定防火訓練が行われており先日開催されました。

日時:平成31年1月24日(木)14時から15時

場所:2階研修ホール、他

参加者:各部署から30名

今回は、事前に内容を公表せず、院内放送を聞いてからアクションカードに基づき行動を起こす訓練形式としました。「3B病棟から火災が発生した」との院内放送を元に、火元に近い職員は初期消火を行い、その他の部署は患者を避難させつつ自分たちも逃げる想定で、行動しました。

たった30分の訓練でしたが、振り返りの会では「非常階段を実際に使った訓練がいいのではないか」、

「初期消火のタイミングが難しい」、などの意見が出され、アンケートでも入院患者をどのように避難させるのか、考えると難しいといった意見がありました。

答えは一つではないはずで、何度訓練を重ねても本番は訓練通りにいかないものです。いざという時の選択肢を増やしておく(引き出しを増やす)のを目的として、これからも訓練を重ねていこうと思います。



火災にあったらどうする？ 避難の基本

避難前にすること

1. 大声で「火事だー」と叫び、他の人に火災が発生したことを知らせる。
黙って逃げてはいけません。周囲の人がすぐに逃げられるよう大声を出しましょう。
2. 避難経路が確保されかつ消火に「自信があれば」初期消火を行う。
3. 初期消火に失敗し炎が天井に達するようなら、消火を諦め、避難を開始する。
自分たちで消せるのは最初の2分と言われています。3分で天井に火が燃え移り

ますが、その時はもう初期消火は不可能です。すみやかに避難し、消防隊員(プロ)の手にゆだねましょう。

4. 避難に余裕のある場合は、「119 番通報」をする。
5. 燃えている部屋のドアを閉めて避難する(部屋を空気不足にして延焼を遅らせる)。

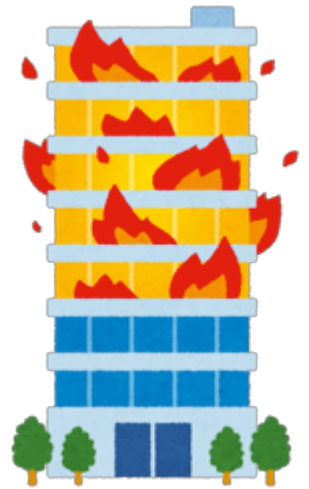
避難時にすること

1. 避難経路がいくつかあるときは、どの経路が最も安全か落ち着いて判断する。

- ・ 非常口までの距離
- ・ 非常口までに曲がる回数の少ない経路
- ・ 床に段差のない経路

を優先に考えます。当院は中央階段と、南北の端に非常階段があります。火元の確認ができたらどちらかの非常階段を選択して下階に降りましょう。エレベーターは閉じ込められる危険もありますから使用しません。

2. 廊下がすでに煙で充満している場合、窓からの脱出方法がないかを確認する。過去のホテル火災などで窓から隣のビルに飛び移って助かった方もいます。
3. 煙の中を避難する時は、静かに必要最小限に呼吸をしながら歩行する。息を止めて進んだ場合、苦しくなって深呼吸してしまうと大量の有毒ガスを吸ってしまうかもしれません。落ち着いて静かに進むのがいいそうです。他にも、できるだけ低い姿勢で、荷物を持たずに、火元に再度戻らない、なども基本的な注意点です。



自宅で水の備蓄、していますか？

例えば南海トラフ巨大地震のような大きな災害が発生した場合、徳島まで支援の手が届くまで何日くらいかかるとお考えですか？東海から九州までの太平洋まで広域に被害が及んだ場合、私たちのところまで、なかなか支援物資は届かない可能性があります。最低3日分、できれば1週間分の水と食料を用意しておきましょう。

人間が生命を維持するために必要な水の量は「成人一人当たり一日2リットルから2.5リットル」と言われています。余裕をもって3リットルを三日分=9リットル、を最低備蓄しておきましょう。7日分であれば**一人当たり21リットル**を飲料用の備蓄水として確保しておきたいところですね。

今後の訓練の予定です

DMATでは定期的に訓練を行い、いざという時に備えています。今年度末にかけて以下の訓練が予定されています。

- 2月7日(木) 徳島空港航空機事故総合訓練(徳島空港)
- 2月10-11日(日月) DMAT 中四国ブロック訓練(香川)
- 2月24日(日) 国民保護訓練(徳島空港)
- 3月10-11日(土日) DMAT 技能維持訓練(高知)